

## 平成 29 年度 第 1 回たつの市行財政改革推進委員会会議要録

日 時：平成 29 年 7 月 10 日（月） 午前 10 時～

場 所：市役所 301 会議室

出席者：委員 11 名（欠席者 1 名）、事務局

### 1 会議内容

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 市長あいさつ
- (3) 会長及び副会長の互選について
- (4) 議事
  - ① まちづくり改革プラン実施計画の取組状況について
  - ② 推進実施計画について
  - ③ 行政改革に係る年間事業計画について
- (5) その他

### 2 議事要旨

- (1) まちづくり改革プラン実施計画の取組状況について  
まちづくり改革プラン実施計画における改革の重点目標の達成状況、本市財政状況及び平成 28 年度の実施計画の取組結果について事務局から説明し、意見交換を実施。  
主な意見等の要旨は次のとおり。
  - (委 員) 税の収納率の向上で、文書催告時の封筒を工夫したと説明があったが、封筒の色の黄色と赤色の違いはあるのか。
  - (事務局) スポーツでいうイエローカード、レッドカードと同じように、段階的に運用していると聞いています。
  - (委 員) どれくらいの効果があったのか。
  - (事務局) 収納率でいうと、平成 27 年度の現年分の収納率が 98.46%だったのに対し、平成 28 年度は、98.71%でした。増収効果額について、目標額を実績額が大幅に達成しています。
  - (委 員) 病院の収支が大幅に改善されているが、要因は何か。
  - (事務局) 内科医が 3 名増えたことによることが大きいと聞いています。
  - (委 員) どうやって医師の確保をしたのか。
  - (事務局) 市長のトップセールスによるものや、27 年度から医監を招へいたことによるものと思われます。また、医師のネットワークでつながっていくところもあります。

(委員) 黒字化を目指せるのか。

(事務局) 公立病院はなかなか黒字にならない分野を担っているところもある。しかしながら、やみくもに大きな赤字にはならないようバランスを取りながら運営していく必要がある。近隣でもなかなか例のない収支回復をしているところです。

また、総務省の繰出し基準内であれば、自治体病院としては役割を果たしていると考えられることもできると思われま。

(委員) 自治体病院の7割以上が赤字という状況で、収支回復するのはやはりすごいことでしょう。

(委員) 母子・健診推進委員としても健診PRをさせてもらっているが、女性の乳がん、子宮がん健診の希望者が多くなっている。多くの人を受診できるよう集団健診日数を増やすなどしてほしい。本当に関心ごとになっている。

(事務局) 市民病院には婦人科はないが、専門外来に乳腺外来があり、女性に来ていただきやすい環境にあると思うので、市民病院での受診も検討してもらいたい。

(委員) 事務局の説明で、数字的な部分で目標を達成したということではあったが、判定のC、Dの項目について、今後どのようにつなげていくのか。特にD判定の「各種公共的団体の自立」は、多くの人に密着している問題と思われる。評価の仕方もあるのだろうが、それぞれ自立してきている団体も多いと思う。

(事務局) 「各種公共的団体の自立」については、合併後の様々な問題がある中で当初に策定された継続的な取組項目で、従来の1市3町の各種団体を融合し、新しい組織を検証していこうということでした。実際に団体運営も変わってきているのがありますが、まだまだ過程のものもある。今後は、時代に即した対応も必要と認識し、市に事務局があることが望ましいことも確かにある中で、検証していきたい。

「市場化テストの検討」についても、当時、「ダウンサイジング」、「アウトソーシング」という言葉が流行った時に市場化法が制定されました。その後、社会情勢の変化などの中で、実際には民間委託が進んでいないのが現状です。一つの要因に、市の事務効率が上がったのもあると思われま。市民課の窓口業務や給料計算について、民間委託が議論されたりもしましたが、情報公開のことなどもあり実際には進みませんでした。

今後、時代に即した形で引き続き民間委託等の検討はしていきたい。

(委員) 数字的には行革の効果があったということですが、サービスの問題、マンパワーによる業務の遅れ、そういった問題は捉えているのか。

(事務局) 職員数の削減に伴い、サービスの低下にならないようにしていく必要はある。また、結果として経費が掛かることもあるが、議論をしながら進めていきたい。

(2) 推進実施計画について

まちづくり改革プラン実施計画が平成28年度で終了したことにより、新しい実施計画を策定し、具体的取組項目について事務局から説明し、意見交換を実施。

主な意見等の要旨は次のとおり。

(事務局) ≪総合計画の概要版において、今後の行財政改革の取組について、市全体の中の柱の一つとして取り組んでいくということの説明≫

今日の説明にもありましたが、今のところ、財政状況は健全であるといえます。

今、地方が基金を貯め込んでいて、地方の方が国より潤沢であると云われますが、メリハリをつけた施策展開していきたい。と考えています。

(委員) 地方が貯め込んでいるというのは。

(事務局) 地方交付税や税収の増などにより、基金の積立が増えているということです。

しかしながら起債残高という借金もあります。また、合併団体においては、今後、地方交付税が減額されていきます。現状、収支均衡がはかれているが、今後、崩れることも十分考えられるので、基金の積立は重要であるといえます。

(3) 行政改革に係る年間事業計画について

年間計画を事務局から説明し、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。

(委員) 指定管理の公募施設は4つあるが、その中の国民宿舎はサービス面とか従前と比較して、評判はどうなのか。

(事務局) 利用者は減っており厳しい状況である。指定管理者の方で、創意工夫をし、ランチバイキングとかいろいろと取り組んではいるようです。

(委員) 御津はいろんな施設があるが、他の地域では、宿泊施設や大人数での食事などができる場所がなく、当てにしているのだが、節約しすぎているのではないか。節約すると、客が減り、また節約するという悪循環に陥っているのではないか。

(事務局) 利用料金制で売り上げは指定管理者の収入とし、自らの努力で収支を回るようにしておるところではあるのですが、厳しい状況です。

(委員) 公共建築物再編の専門チームとあるが、どこが中心になるのか。

(事務局) 契約課が担当し、各部署各分野の担当者を以て専門チームを立ち上げる予定です。

(委員) 人が少なくなり、余剰となっていく施設も出てくる。無駄が多くなるので、早く取り組むべきだと思う。

(事務局) 各施設再編に関しての課題の見える化を図り、検討していきます。

(4) その他

全体を通じて、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。

(委員) 全国で豪雨被害などの災害のニュースを耳にするが、たつの市において、みんな他人事で防災意識が薄く、訓練の参加も役員だけになってしまっている。危機管理の意識の無さを感じるので、市においてももっと啓発して欲しい。

(事務局) 活動状況を申し上げますと、先日も庁内においてD I G訓練を実施しました。市民向けには、出前講座を実施したり、小学校単位でも持ち回りで毎年開催しています。昨年度も室津地域で開催し、本年も揖保地区で開催します。

(委員) 行政改革において、補助金の費用対効果の検証を実施し、必要な補助金は手厚くしたり、見直しをしてはどうか。各部署ではやっていると思うが、全体として仕分けをやっているのか。補助金の再検証が行政改革になるのではないか。一律カットとかではなく、費用対効果で、増やすべく補助金は増やし、形骸化している補助金は無くすというような全部の補助金を見直す再検証をしてほしい。

(事務局) 事務事業評価等で実施しているところではあるが、今後も引き続き検討していく。